

いちばんぼし

夏休みに心を動かされたこと

2年生
学年だより
H29.9.11
NO.5

部活の合同合宿に行きました。そこで他校の先生は「自己満足では記録は伸びない」とおっしゃっていました。私は、本当にそうだなかと思いました。たとえ100キロメートルを走ったとしても歩くのと同じペースだったら、それは自己満足で終わってしまうということです。これからは自分のしている練習の意味や自己満足になっていないかを考えて練習していきたいです。1組I

私の塾ではクラスで3～4チームに分かれて勉強時間の競い合いをしました。私のチームのお盆前までの平均勉強時間は約60時間でした。私は40時間くらいしかできなかったのに、チームの中には約80時間勉強している人がいました。それを聞いて渡しは心が動かされました。私も自分を成長させるために頑張っていきたいと思います。1組I

夏休みの練習では部内戦をして練習相手や団体戦のレギュラーを決めています。卓球部の中で一番上手い友達は、練習中にサーブの出したかや回転のかけ方を教えてくれました。団体戦でレギュラーが決まるのに、なぜそんなに僕に教えてくれるのかその友達に聞くと、みんなで強くなるためだと答えました。僕は部内の順位だけど気にしていたのに、その友達はもっと広いところまで見据えていました。すごいと思いました。1組I

8月6日に広島で行われた平和式典の様子がテレビで放送されていました。今の小6の子が原爆のことを語っていました。小6なのに原爆のいろいろなことを知っていたし、自分の考えをしっかりと伝えていたし、原爆への強い思いが伝わってきました。1組S

旅行に行った山口県で詩人の中原中也さんの資料館に行きました。親に詩人の道を反対されたのにあきらめずに新聞の投稿欄に投稿を続けて注目されたく、そういう行動力がすごいと思いました。中原さん自身も30代で亡くなっているけど、今でもこんなに有名で愛され続けているのに感動しました。2組O

いつも試合に出ているメンバーがケガをして、自分にチャンスが回ってきました。試合に出ると、自分のできていないことを知ることができたり、どのようなプレーがよいプレーなのか、少しずつ判断できるようになりました。2組I

僕は高校野球が好きで、毎日のようにテレビで見っていました。3点差の12回裏2死ランナー無しから、逆転サヨナラ勝ちをした試合を見ました。僕はこの時、野球は人生みたいなスポーツだなと思いました。あきらめない気持ちはこれからの人生の中で大切に忘れてはいけないことだなと思いました。2組N

読書感想文で読んだ捨て犬の話に心を動かされました。殺処分を目の前にしてギリギリ命を救われた犬が、災害救助犬として人の命を救う活動をしているというところにとっても感動しました。これを読んで、僕も人の役に立ちたいと思いました。2組H

コンクールに向けて何ヶ月も前から練習をしてきました。つらいこともあったけど、コンクールメンバーで一生懸命がんばれたことがとても嬉しかったです。目標の金賞は取れなかったけど、本番では今までで一番よい演奏ができたし、自分にとってはすごくよい経験で大きな思い出になりました。2組F

夏休みに京都観光をした。五条大橋から祇園へ。そこから四条通りに行き八坂神社へ。そして清水寺へ行った。交通手段としては駅の近くのレンタサイクルを利用した。その店には外国の人がお客さんとして来ていた。僕が店の人に「英語を話せるのはすごいですね」というと、「さっきのはフランス語だよ」と言われた。僕が驚いていると、「2年後にはオリンピックがあるやろ？だからいろんな言葉を喋れないとなあ！君達も学校で英語の勉強を頑張るんだよ。」と言われた。自分は今まで以上に英語への関心が高くなった。そんな素敵な京都旅行だった。2組M

夏休みに大会があって、みんなが活躍しているのをベンチで応援していました。そして自分の出番では、何も結果は残せませんでした。先生は「日頃の練習が試合でも出る」と言っていました。私は「明日からは練習の意識を変えよう」と思いました。2組Y

夏休み中にキャンプに行きました。その中で大縄跳びがあったのですが、私は苦手だったので、友達に誘われても「やめとく」と言いました。友達が理由を聞くので、「へたくそで、人の足を引っ張るから」と答えました。友達は「私だってへたくそやったよ。でも練習したらできるから。失敗してもいいやん」と言ってくれました。私は嬉しかったと同時に、いろんな苦手なことに挑戦していきたいと思いました。3組A

テレビを見ていたら、偉人の名言の紹介をしていました。それはスティーブ・ジョブズの「今日がもし人生最後の日だったら、いま自分がしていることは本当にしたいことか」という言葉でした。でも、この言葉を夏休み中に毎日使い続けるとしんどいだろうなと思いました。3組U

一番心を動かされたことは、今年全中に行った中央中学校の練習を見に行ったことです。見に行く前はつらい練習をもくもくとしているだろうなと思っていたけど、行ってみると驚きました。みんな笑顔でバスケをしていたからです。しんどい練習もしていましたが、みんな一生懸命なことは見ていて伝わってきました。これがバスケ部の練習のあるべき姿なんだなと思いました。3組K

夏休みの部活でたくさん試合をさせてもらいました。私はプレッシャーに弱いのに、「自分が点を取らないと」「ミスをしてはいけない」と自分を追い詰めて、失敗してしまうことがありました。でも先生の「ペアに任せてみなさい。協力してやりなさい」という言葉に救われ、そこから安心して試合に臨むことができるようになりました。3組S

サッカーの試合中に負けている時でも中心になって、すごく大きな声で「絶対勝つぞ！」と声をかけてくれる人がいました。僕はその言葉にとても心を動かされました。3組T

沖縄で海がめの産卵を見ました。砂浜でゆっくりだけど必死になって卵を砂に埋めていました。海がめが子どもの安全のために頑張っている姿に心を動かされました。3組M

夏休みの部活の中で、知らない間に自分に体力がついていたことにビックリしました。1年生の時は「夏休みの練習はしんどくて嫌だなあ」と思っていたけど、今では少し楽になりました。もちろんしんどい練習もあるけど、そういう時は友達と励ましあって乗り越えました。3組Y

私が夏休み中に心を動かされたことは、24時間テレビで体が不自由な人が何か一生懸命に挑戦している姿です。何も不自由のない私ですが、目の見えない人や足が不自由な人がしんどいことに前向きに挑戦しているのを見てすごいと思いました。「やってやるぞ」という熱意に心を動かされました。4組I

夏休み中に部活で試合があった。その中で応援は大切だなと思いました。理由は、自分が応援されたら元気が出るからです。声に出して応援するだけで「こんなにも違うのか」と思いました。4組O

夏休みにドルフィンパークに行きました。イルカのショーでイルカは、人と協力して一緒に泳いでいました。人間とイルカは言葉が全く通じないけど、ずっと一緒にいてたくさん練習をすると言葉はわからなくても心は通じ合うんだなあと思いました。4組O

夏休みで心を動かされたことは、試合でできないと思っていたことをやろうとしたら、ちゃんとできたことです。先生から「ちゃんとやったらできるやん」と言われました。それから自分もやろうと言う気持ちがあればできるんだと思えるようになりました。4組S

部活の先輩に、「俺らは阪神大会で負けてしまったけど、来年は俺らの分も勝って県大会に行けよ」と言われたときに心を動かされました。4組J

夏休みは部活を頑張りました。夏休みの部活はしんどくてつらくて泣きたいときもあったけど、顧問の先生が「練習がすべてや！」ということを守って、私はこの言葉に一番助けられました。練習を真面目に取り組むから試合で勝ったりすることができるんだと思いました。4組N

部活中に誰かがケガをすると、他の人達が氷やシップを用意してくれていました。自分がケガをしたときも、周りの人が助けてくれました。部活はみんなが協力して一緒にやっているんだなと改めて思いました。4組H

24時間テレビのマラソントレーナーの坂本さんは、おじいちゃんになっても走っているのは体の弱っている奥さんを元気づけるためだと言っていました。この話を聞いて、誰かを元気づけるために一生懸命頑張れるのはすばらしいと思いました。4組H

私はAという大編成部門の吹奏楽のコンクールに出ました。必死に練習したけど、結果は銅賞でした。コンクールが終わった後のミーティングで、先輩が「結果は銅賞だったけど、自分達は絶対に金以上のものを得られたと思います」と言っていました。私はこの言葉にとても心を動かされました。大切なのは自分達がどのように頑張ってきたのかということなんだと思いました。4組M

たった35日の夏休みが
駆け足でキミたちを成長させる



